

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330312053	子どもの保健 Child Health	黒谷万美子	✓	専門	2	必修	1後期

科目の概要

DP2・3に記載している子どもの生活学科の教育目標である人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成する科目として設定されている。小児の健康の意味を理解し、保育実践における、健康を維持するための保健活動の重要性を理解する。また、小児の健康を守るために、家庭、地域、学校での連携した保健活動が重要であることからそれらの保健活動に関するシステムを学ぶ。保健師として行政・企業・健康保険組合に20年間勤務し、健康教育・保健指導等行ってきた。家族支援を含めた健康支援活動の経験を生かした講義(演習・実習)を行う。

学修内容	到達目標
① 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義と身体発育の特徴について学修する。 ② 子どもの生理機能の特徴について学修する。 ③ 子どもの運動機能と精神機能の発達について学修する。 ④ 子どもの保育(衣食住)について学修し具体的な保育について学修する。 ⑤ 子どもの精神保健と課題について学修する。	① 保健活動の意義と身体発育の特徴について理解することができる ② こどもの生理機能の特徴(呼吸器・循環器・消化器・泌尿器等)について理解することができる ③ 子どもの運動機能と精神機能の発達を理解することができる ④ 子どもの保育(衣服・環境・清潔・栄養・排泄・外気浴等)について理解し保育方法について説明することができる ⑤ こどもの精神発達上の問題を発達段階ごとに考え、乳幼児期、学童、思春期でのこころの発達の特徴、生じやすい問題について考察し解決方法について提案できる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	新聞やニュース等を意識し、こどもの健康や病気に関連する出来事に注目し、不明な点は自ら行動し解決することができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分の母子手帳や健康手帳から健康史を確認し、発達の特徴を学習することができる。
考え抜く力	課題発見力	毎回の授業のポイントを確認し、次回授業での復習(前回の授業でのQ&A)の時間において課題発見することができる。
	計画力	
	創造力	課題発見し準備した質問に対して創造力を発揮し、ヒントや解答を準備することができる。
チームで働く力	発信力	子どもや母子の保健水準を表す指標のグラフが意味することを述べられる。質問に対し分かりやすく答えることができる。
	傾聴力	授業での復習(前回の授業でのQ&A)の時間において、相手の意見を正確に理解することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	規律性を守り、レポートを提出することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書：後日提示
参考書：保育実践を支える「健康」

他科目との関連、資格との関連

多科目との関連：「子どもの保健」は学科専門科目「保育の対象の理解に関する科目」に設定されており、その後に履修する「子どもの食と栄養」の基礎となる科目である。
資格との関連：保育士

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 授業中の私語は慎み積極的に授業に参加する 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめ、内容を整理しておく 	<ul style="list-style-type: none"> 世の中で起こっている様々な事件の中で、子どもの健康や病気に関連する出来事に注目する(具体的には、テレビや新聞のニュースに関心を持って、毎日、見聞きすること) <注意>出席・授業態度では、3回遅刻で1回欠席。10分以上の遅刻や早退、居眠りは欠席扱い、更に5回欠席で-10点とする(1回につき-2点)。私語が多く再三注意を受けるなど受講態度が良くないときには、その授業の出席を認めない場合がある。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	80	①	✓	子どもの身体発育の特徴、生理的機能の特徴、運動発達と精神発達、子どもの保育(衣服・環境・清潔・栄養・排泄・外気浴等)、子どもの精神保健と課題について評価を行う。また、乳幼児期や学童期における健康課題を意識し具体的な保健活動に繋げることができるか評価する。S: 子どもの特徴、運動・精神発達、子どもの保育、生じやすい問題について理解し解決方法や対応について述べるができる。A: 子どもの特徴、運動・精神発達、保育、生じやすい問題について理解し述べるができる。B: 子どもの特徴、運動・精神発達、保育について理解し述べるができる。C: 基本的な子どもの特徴、運動・精神発達、保育について理解することができる。F: Cのレベルに達していない。 知識の獲得(子どもの特徴、運動・精神発達、保育の基本的理解):50% 知識の活用(子どもの特徴、運動・精神発達、保育、生じやすい問題を抽出):30% 課題解決(子どもの特徴、運動・精神発達、子どもの保育、生じやすい問題について理解し解決方法や対応について述べる):20%		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	10	①	✓		授業の中でのDVD視聴やグループワークにおいて、それぞれの学びや意見、反省等今後の活動に展開できるような記述を評価する。指定の容量で記述することは勿論、今後の実習記録を踏まえたより具体性、客観性、論理性を備えた記述にすることが重要である。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	0	①					
		②					
		③					
		④					
		⑤					
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性)質問や意見を述べて積極的に取り組むことができる (実行力)健康史について記述できる。 (課題発見力)授業での復習(前回の授業でのQ&A)の時間において課題発見することができる。 (創造力)創造力を発揮し、ヒントや解答を準備することができる。 (発信力)授業での復習(前回の授業でのQ&A)の時間に友人とディスカッションすることができる。 (傾聴力)相手の意見を正確に理解し、質問に対し分かりやすく答える事ができる。 (規律性)規律性を守りレポートを提出することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
達成目標①から⑤について実践できるとともに筆記試験においての知識、レポートでの記述内容、授業での積極的発言と課題発表の全て満足できる評価が得られる。つまり健康な子どもについて理解し、健康ではない子どもとの違いが分かり早期に対応できることが基準となる(総合評価80点以上90点未満)。A以上の能力を有しているもの(総合評価90点以上)をSとする。	達成目標①から⑤について実践できるとともに筆記試験においての知識、レポートでの記述内容、授業での積極的発言と課題発表のある程度満足できる評価が得られる。つまり健康な子どもについて理解し、健康ではない子どもとの違いがある程度分かることが基準となる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	子どもの健康と保健の意義(1) 心身の健康に関わる保健活動の意義について学ぶ	・講義・DVD視聴	実際に社会で起こった子どもの健康や教育関係の出来事に目を向け、それに対してコメントできる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章①) 復習:保健活動の意義と小児保健の現状について配布資料を理解する90分	180	主体性 創造力 発信力
2	子どもの健康と保健の意義(2) 子どもの健康と子どもの保健の基本を学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・ディスカッション	自分の健康状況などを振り返りながら子どもの特徴を理解できる。質問に対し分かりやすく答えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分 復習:自分の母子手帳や健康手帳などから健康史を確認する90分	180	主体性 創造力 発信力
3	子どもの健康と保健の意義(3) 母子保健サービスの内容を学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	子どもや母子の保健水準を表す指標のグラフが意味することを述べられる。質問に対し分かりやすく答えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章②) 復習:グラフの読み取りを行い現状と課題を理解し対策に結びつける90分	180	主体性 創造力 発信力
4	生物としてのヒトの成り立ち(1) 生命の誕生及び胎児期の発育・発達について学ぶ	・講義・DVD視聴・妊婦モデル体験・レポート記述(google classroom)・ポイント解説(Q&A)	命の誕生及び胎児期の発育・発達について理解し妊娠中の支援について記述できる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第1章③) 復習:妊娠中の生活、胎児の発達を理解するためノートの確認を怠らないこと90分	180	主体性 創造力 発信力
5	生物としてのヒトの成り立ち(2) 新生児期の特徴について	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・小テスト(google formsによるフィードバック)	胎児期・新生児期の特徴について理解することができる。質問に対し分かりやすく答えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第2章①) 復習:新生児の特徴について実習で経験不可な事をDVDで再確認すること90分	180	主体性 創造力 発信力
6	身体発育の特徴 月齢、年齢に従って発育する子どもの身体発育について学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	月齢、年齢に従って発育する子どもの身体の標準的数値を述べられる。質問に対し分かりやすく答えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第2章②) 復習:身体発育については採用試験対策も兼ねて月例別の運動発達を確認すること90分	180	主体性 創造力 発信力
7	身体発育の評価 身体発育の評価方法について学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・レポート記述(google classroom)	発育指数を理解し、身体測定値の表やグラフから身体発育の評価ができる。質問に対し分かりやすく答えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第3章) 復習:身体発育については採用試験対策も兼ねて月例別の運動発達を確認すること90分	180	主体性 創造力 発信力
8	生理機能の発達と保健 ①呼吸器・循環器の特徴を学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	体温、呼吸、脈拍の子どもの標準値と特徴を述べられる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第4章) 復習:子どもの呼吸器・循環器の特徴について成人と比較して理解すること90分	180	主体性 創造力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	生理機能の発達と保健 ②消化器・泌尿器の特徴を学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	消化器・泌尿器の特徴を理解し母乳の利点・欠点を述べられる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第5章①) 復習:子どもの消化器・泌尿器の特徴について成人と比較して理解すること90分	180	主体性 創造力 発信力
10	生理機能の発達と保健 ③睡眠の発達と自律神経の働きを学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・小テスト(google formsによるフィードバック)	栄養に関する器官の名称と体内での配置を図示できる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第5章②) 復習:睡眠の発達について成人と比較して理解すると同時に睡眠の問題についても確認すること90分	180	主体性 創造力 発信力
11	運動機能の発達と保健 運動機能の発達について学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	運動機能の発達の原則を理解し、首のすわりから一人歩きまでの順番を図示できる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第5章③) 復習:運動機能の発達について月例別理解と異常の判別について理解しておくこと90分	180	主体性 創造力 発信力
12	精神機能の発達と保健 ①言葉・情緒の発達について学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	言葉、情緒の発達の道筋を述べられる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第5章④) 復習:知能・感覚器・情動について復習し平均的な発達を理解しておくこと90分	180	主体性 創造力 発信力
13	精神機能の発達と保健 ②精神発達の検査法について学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	精神発達の検査法を理解し、精神発達検査から、子どもの発達状況を推測できる。分かりやすく相手に伝えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第5章⑤) 復習:各種検査方法の特徴について復習すること90分	180	主体性 創造力 発信力
14	子どもの精神保健①こころの健康に関する精神保健の基本的な考え方や生活環境がこどものこころに及ぼす影響を学ぶ	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・レポート記述(google classroom)	中枢神経のしくみを理解できる。質問に対し分かりやすく答えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第5章⑥) 復習:精神発達への影響を与える要因について復習すること90分	180	主体性 創造力 発信力
15	子どもの精神保健②乳幼児期、学童、思春期でのこころの発達の特徴、生じやすい問題について学ぶ	オンデマンド配信	こどもの精神発達上の問題を発達段階ごとに考え、理解できる。質問に対し分かりやすく答えることができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第6章) 復習:発達段階ごとの精神保健の問題についてまとめておくこと90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力